

**欧州高血圧学会（European Society of Hypertension; ESH）の
高血圧、レニン・アンジオテンシン系阻害薬および COVID-19 に関する声明**
(2020年3月12日公開)

原文リンク

<https://www.eshonline.org/spotlights/esh-statement-on-covid-19/>

*** 翻訳は現時点での暫定的な情報を元に作成されています。また医学的内容について、まだ監修を受けていない一次翻訳の状態です。本記事の利用については、各施設および個人の臨床医の判断と責任下で利用してください。**

- 現時点では、高血圧それ自体が COVID-19 感染リスク上昇と関係があることを明確に示す根拠はない。したがって、高血圧患者は同様の年齢や併存症に応じた対応をなされるべきである。
- **COVID-19 感染で状態が安定している、あるいは COVID-19 感染のリスクがある患者において、ACE 阻害薬やアンジオテンシン受容体拮抗薬の仕様は 2018 年の欧州心臓病学会(ESC) / ESH ガイドラインにおける推奨に準じて行われるべきである。 (ESH の声明ですのでこのような記載になりますが、日本においては日本高血圧学会の高血圧治療ガイドライン JSH2019 に準じることが重要です)**
- 現在信頼できる COVID-19 感染におけるデータにおいて、COVID-19 感染者におけるレニン・アンジオテンシン系阻害薬（ACE 阻害薬やアンジオテンシン受容体拮抗薬）の他とは異なる使用法を支持するものはない。
- COVID-19 感染で状態が重篤な、あるいは敗血症に陥っている患者において、レニン・アンジオテンシン系阻害薬や他の降圧薬の使用については、現行のガイドラインを考慮しながら症例毎で個別に継続あるいは中止を検討されるべきである。
- 高血圧や降圧薬、特にレニン・アンジオテンシン系阻害薬が COVID-19 感染の臨床経過にどのような影響があるかについて、今後継続的に増加するデータを解析することが求められている。

注意！

この声明は公開される時点におけるガイドラインを反映しており、新たな根拠に準じて改訂が必要であろう。

文献

1. Williams B, Mancia G, Spiering W, Agabiti Rosei E, Azizi M, Burnier M, Clement DL, Coca A, de Simone G, Dominiczak A, Kahan T, Mahfoud F, Redon J, Ruilope L, Zanchetti A, Kerins M, Kjeldsen SE, Kreutz R, Laurent S, Lip GYH, McManus R, Narkiewicz K, Ruschitzka F, Schmieder RE, Shlyakhto E, Tsioufis C, Aboyans V and Desormais I. 2018 ESC/ESH Guidelines for the management of arterial hypertension: The Task Force for the management of arterial hypertension of the European Society of Cardiology and the European Society of Hypertension: The Task Force for the management of arterial hypertension of the European Society of Cardiology and the European Society of Hypertension. *Journal of hypertension*. 2018; 36: 1953-2041.